



エドアルド・キヨッソーネ画
西郷隆盛肖像(明治16年制作)

酒井忠篤写真
(致道博物館蔵)

菅実秀写真

《開催のご挨拶》

明治維新150周年を記念して、幕府崩壊前後の庄内藩と薩摩藩の交流の歴史を中心に、また、庄内藩が所有する西郷関係資料を鹿児島里帰り展として紹介することを目的とした特別展です。庄内藩との深淵な歴史・文化の交流をみていきます。

新政府軍に徹底抗戦した庄内藩にとっては、意外にも寛大な対処でした。南洲翁の度量の大きさや深淵な思想を学ぶために藩主酒井忠篤は70余名の家臣を随伴来鹿し、その後の旧庄内藩士の土族授産(松ヶ岡開墾場開発)にも南洲翁は大きく寄与し、交流の絆は益々深くなっています。南洲翁の思想を『南洲翁遺訓』にまとめ、全国に頒布したのも庄内藩の功績です。本展では、沖永良部島時代の南洲翁を語る豊富な資料の里帰りも注目点です。

特別展

庄内藩に愛された西郷南洲翁

庄内藩との交流と里帰り展

2018年10月1日(月) - 11月14日(水) 会場: 鹿児島市立西郷南洲顕彰館